

平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業土木設計	単位数	2	履修学年・クラス	2B
担当者	農業土木設計(文部科学省)						
学習目標	○安全で安定した農業土木構造物を設計するための基礎的設計計算の知識と技術を習得する。 ○力学や構造物の設計計算の基本的な手順について理解する。 ○進路先での業務に耐えうる設計計算能力を身に付ける。						
学習方法	○測量士補試験までは、全員受験のため例題演習、解説、未習得分野、過去問解説の学習を行う。 ○設計計算や設計手順を確実に周知徹底するためにプロジェクター等を活用し、効率的な学習を目指す。 ○課題等により、学習の深化と設計計算等の定着を図る。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	構造設計をするため土と水への関心を持ち、構造計算に取り組む態度が身についている。				
	思	思考・判断・表現	設計に必要な基礎的・基本的な知識を持ち、しっかりとした技術を基に設計技術者としての判断が身についている。				
	技	技能	効率的で正確な設計計算ができる。				
	知	知識・理解	設計に必要な基礎的・基本的な知識を習得し、構造物の設計に必要な諸要素の計算手順を理解している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	○測量士補試験	測量士補過去問対策、解説 ・写真測量、GNSS測量、水準測量 ・地形測量、三角測量 ・多角測量、地図編集 ・過去問題模擬試験	○	○	○	○	[関]測量に興味関心を持ち、資格取得への意欲がある。力の物理的特性について関心をもっている。 [思]資格試験や設計計算に意欲的に取り組んでいる。 [技]計算機器を使用して必要な値を正確に求めることができ、力の合成と分解が確実にできる。 [知]測量全般の基礎的・基本的事項についての知識を有し、測量士補問題の解答方法と手順を理解しているとともに、力の釣りの理論を理解している。	・課題提出状況 ・模擬テスト ・授業観察 ・定期考査
	○力の釣合い	・力と力学 ・力の合成と分解 ・モーメントと偶力	○	○	○	○		
前期末	○静定ばりの計算	・はりと外力 ・はりの計算 単純ばり } 反力、せん断力、曲げモーメント 張出ばり } ↳ 集中荷重 等分布荷重 固定ばり } ↳ 等変分布荷重 ・はりの影響線	○	○	○	○	[関]構造物の骨組みを支えるはりの重要性を理解し、荷重の作用によってははりに生じる力関係に関心を示している。 [思]荷重によってははりに生じる力の種類を推測することができる。 [技]各種荷重によってははりに発生する力を正確に計算し、せん断力、曲げモーメント図を描くことができる。 [知]力の釣りの三条件を理解し、各荷重が作用したときに生じる力の解法手順を身に付けている。	・課題提出状況 ・模擬テスト ・授業観察 ・定期考査
	○平面図形の性質	・断面一次モーメントと図心 ・断面二次モーメント ・断面係数と断面二次半径	○	○	○	○	[関]構造物部材の力学的特性を意欲的に学び理解しようとしている。 [思]材料の性質の違いを見極め、構造物部材としての適切性を判断することができる。 [技]部材の平面図形の性質や強さを正確に計算することができるとともに、製図の規則に沿った図面を描くことができる。 [知]構造材料が外力を受けた場合の諸要素の求め方を身に付け、力と構造物の材料との関係について理解している。	・課題提出状況 ・模擬テスト ・授業観察 ・定期考査
後期中間	○材料の性質と強さ	・応力とひずみ ・弾性と弾性体の性質 ・材料の強さと許容応力度	○	○	○	○		
	○土木製図	・土木製図の基礎 ・土木構造物の製図	○	○	○	○		
後期末	○はりの設計	・長方形断面の設計 ・はりのたわみ	○	○	○	○	[関]構造物の設計計算に興味関心を持ち、積極的に取り組む態度が身についている。	・課題提出状況 ・模擬テスト ・授業観察 ・定期考査
	○トラス	・トラスの構造と特徴 ・内的静定と不静定 ・ワーレントラスの応用解析法	○	○	○	○	[思]様々な構造設計の問題点を認識し、効率的且つ効果的な設計を行うための方法を考察することができる。 [技]構造設計での数値、計算整理ができ、正確である。 [知]簡単な部材断面の設計手順を習得しているとともに、トラス構造物の力学的な性質とトラスの応力の解法や構造設計の理論、計算方法を理解している。	